

## 洪水—

# この国で最も頻繁に起き最も犠牲の大きな自然災害

### 知るべきこと…するべきこと

#### 洪水に対する安全意識

FEMA では米国海洋大気庁 (NOAA) と国立観測所 (NWS) と提携して全米の洪水リスクを実証し、あなたとご家族を保護するためにとるべき対策についての重要な情報を提供しています。

洪水は、この国が直面する最も頻繁に起きる厳しい天候の脅威であり、最も被害の大きな自然災害です。米国における全自然災害の90%が洪水に関わるものです。

#### 自分のリスクを知る

リスクを削減するために、洪水の発生前、発生中、発生後にできることが数多くあります。詳細につきましては、[www.ready.gov/floodawareness](http://www.ready.gov/floodawareness) をご覧ください。

#### 洪水が発生する前...

1. 安全に関する情報を知っておき、非常用品キットを準備しておく。災害用品チェックリストにつきましては、[www.ready.gov](http://www.ready.gov) をご覧になるか、または国立観測所からの洪水に対する安全の情報につきましては、[www.weather.gov/floodsafety](http://www.weather.gov/floodsafety) をご覧ください。
2. 家族の緊急プランを作っておく。高台にある自宅、仕事場、学校などからの洪水避難経路を計画し練習する。
3. 大切な物や書類を安全な場所に移す。貴重品を被害を受けない場所に保管する。

#### 洪水が発生している最中...

1. 高台に逃げる。くぼみや低地、溪谷や湿地帯などを始め洪水になりそうな地域から避難する。
2. 既に浸水している場所、特に水流の速い場所は避ける。流れを横切ろうとしない。わずか6インチ (15cm) の流れでもひっくり返ることがある。

3. 冠水した道路は決して運転しない。出水した水面下の路面が押し流されていることもあり、わずか2フィート (60cm) の流れが SUV を道路から一掃することができる。

#### 洪水が発生した後...

1. 被害を確認する。自宅に入る前に構造的な被害を確認する。水道、ガス、電気、下水などに対する被害の疑いがある場合は、関係当局に連絡する。
2. 濡れているものをすぐに取り除く。濡れたカーペット、家具、ベッド類、その他水分を含んでいるものは、24時間～48時間の間にカビが生えることがある。カビが生えた物は廃棄する。
3. 建物の内部を徹底的に乾かす。ポータブル除湿機は便利で、レンタル費用は洪水保険で負担されることもある。また、エアコンも乾燥過程の最初に利用できる。
4. 浸水した水または泥水に浸かったものはすべて洗って殺菌する。浸水した水に触れた食品はすべて廃棄し、関係当局が水道の水が飲料に安全と宣言するまで水は沸かしてから使う。

#### 洪水保険金の請求を申請する

- 保険金請求を申請する際、以下の情報を必ず添えてください。保険会社の名前、保険証券番号、あなたに連絡を取ることができる電話番号またはメールアドレス。
- 家の中の浸水や被害を受けた所有物の写真。修理の見積りを作成するために、保険査定担当者は被害や被害項目の証拠が必要です。
- 被害項目または損失した項目のすべてと、可能であればこれらの年代と価値を記載して、一覧を作成してください。
- 洪水に対する安全対策、洪水のリスク、洪水保険のオプションなどの詳細につきましては、[www.floodsmart.gov](http://www.floodsmart.gov) をご覧ください。



FEMA



2011年2月